



2015年地本旗開きが1月31日10時30分より新潟市「東映ホテル」で新潟県支部と共催で開催されました。

全体で33名が出席、国労本部から小池執行委員、国労東日本本部から佐藤書記長、矢部執行委員が出席しました。

今回の旗開きは、第1部学習会、第2部旗開きとして企画し開催しました。



NO. 838
 発行
 2015年
 2月23日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

分会活動をきちんとやる

2015年地本旗開き

第1部では国労本部から小池執行委員、東日本本部から佐藤書記長から組織強化・拡大についてあいさつしていただきました。

地本からも福富組織部長から具体的な提起がありました。

上石委員長あいさつ

上石委員長は「組織強化・拡大について学習会を前段で企画した。分会活動を、きちんとやること」が



重要だ、そして拡大に結び付けていく。55歳で退職されることに残念、大変な痛手だ。ぜひそのとき

は相談にのりたい。本部のオルグ

国労本部 小池執行委員あいさつ



185回中央委員会が開催され当面する闘う方針が決定された。JRの安全問題～JR北海道の安全問題について対策委員会が6回開催された。一定の改善を目指し労使合同会議をつくった。団交の改善、国労を無視させない環境をつくること。

3島貨物問題～貨物の格差、15年ベア0、手当が大幅に下回ったこと。若年退職など。1月27日に諸手当の見直しが提案された。都市手当、移動後の2年間廃止・地域手当の削減、祝日手当の廃止など。貨物労組は手当廃止について事前合意していた。国労は手当の削減や改悪について反対し宣伝していく。

2015年春闘～285兆円の内部留保を出させること。1万5千円のベア要求。2月12日一斉にJR各社へ提出。中央委員会でストを求める発言があった。

JR各社の内部留保は6兆円。JR東日本は2、5兆円になる。ストを含む体制で指導する。3月2日から1週間が山場、3月8～9日中央行動を実施、地方でも大衆行動を進める。

組織拡大～組織対策本部を設置し全国組織部長会議の開催。追加方針で職場実態調査の実施、具体的な事項から多くの弱点。一部の活動になっている。目標になる運動が継続できていない。①全機関で意思統一をしていくこと。②全機関で月1回の総括会議を開催し議論する場を設置する。③全機関で集中したオルグ活動を進める。この2年間で大きく広げていく。全組合員が参加すること。

学習会の定着化を図ること。関連労働者への組織化プロパー・アルバイト。安全、サービスの低下、権利など人件費の切り下げ問題。討議資料を作成し団交の強化・地本、エリア単位で実施していく。

若い青年が国労加入している～国労の訴えが届いている。国労は正しいと思う。貨物労組がやっていることは、おかしいと思い国労加入した。若い人たちは声をかけて欲しいと思っている。



で組織拡大に結び付けていこうとあいさつがありました。

第2部は12時20分ころから同じ会場で、新潟県支部の斉藤委員長

の乾杯の音頭でスタートしました。しばらく懇談の後、各分会から決

意表明がありました。

藤井副委員長から余興などあり、また、全体で国鉄労働組合歌を合唱し盛り上がりました。

最後は、上石委員長の団結がんばろう！で終了しました。

出席していただいた組合員の皆さんお疲れさまでした。これから拡大地方委員会の開催や春闘行動が取り組まれます。

春闘行動の中ですべての取り組みに組織拡大を結合させて運動を進めていきましょう。

よろしく御願います。



国労中央行動

○春闘行動○

要求提出日 2月12日(水)
 交運労協春闘総決起集会
 3月4日(水)
 青・婦・家 中央行動
 3月8日(日)～3月9日(月)
 国労中央総行動
 3月9日(月)

○地本春闘行動○

拡大地方委員会&春闘学習会
 2月28日(土)
 春闘総決起集会
 3月～県支部と共催で開催します。
 2月21日執行委員会で決定します。

○ダンプ・トラックパレード

4月19日(日)



**組織拡大
弱点を認識して
取り組みを進める**

組織強化・拡大は組合員の中でも若年退職がある。分会活動の不十分、何ができるのか・弱点を認識して取り組みを進める。職場で運動をつつていく・集まって話をすること。

地本間での交流会の開催・組織交流。目的、計画を具体化する。関連労働者の組織化。本体以外は組織されていない。パート・臨時社員は労働条件が劣悪になっている。プロパー社員は、どんな労働環境なのか・労働条件を改善していく。

国労東日本本部 佐藤書記長あいさつ



東日本の課題について、労働協約労働条件は変えられていないが東京駅到着のモニター通勤制度(幹線通勤)について制約を受けていたが会社側に申し入れ、この通勤制度の制約について削除した。若干改善された。

青年・婦人部の独自交渉をやった。平成採が交渉、青年部が本社交渉を

やることのできた。婦人部も交渉した。団交について、要求は現場全体の要求として交渉し自分達の言葉で交渉した。

年間の交渉は本部・本社は年に6回。地方の要求について改善させるために本部・本社間の交渉だけでなく地方でも強化していく。団交の取り組みを、ひとりひとりが職場で進め、現場長交渉も実施していく。



委託化反対を明確に

職場の委託化反対の立場を明確にしていく。職場の見直し要求と練ってやっていくこと。営業職場は委託化・遠隔化 委託化になっている職場が合理化されている。JR東日本に対して交渉をやる。委託会社には責任は無い。



国労本部・第9回組織拡大経験交流集会の開催



●西ブロック組織拡大
経験交流集会
5月17日(日)～
5月18日(月)
場所・関西

●東ブロック組織拡大
経験交流集会
5月31日(日)～
6月1日(月)
場所・関東

